

いーぶん

● 素敵なパートナーになるために ●

第36号

平成28(2016)年2月

特集

男女共同参画社会ってどんな社会？



今回はじめての全戸配布です



平成13年に創刊した「いーぶん」も、今回で36号を迎えます。これまで、男女共同参画のさまざまな特集を組んできましたが、今回はその内容もふまえ、「男女共同参画社会」とはどんな社会かを、実現できている社会とそうでない社会をわかりやすくマンガにしてみました。皆さんは、どちらがいい社会だと思いますか？今回の特集を機会に、一緒に考えてみましょう。

地域では…

これまでは…



これからは…



● 地域活動は積極的に参加しましょう

町会長などの役職に就くのは男性のほうが多いようですが、実際に、清掃や生涯学習などの活動は女性のほうが積極的に参加しています。これまでの性別の役割分担にとらわれず、みんなで協力して地域活動に参加し、世代や性別を超えた交流を深めてみませんか。

地域で活躍する女性団体「一宮市地域女性団体連絡会」にインタビュー

一宮市地域女性団体連絡会は、市内の各連区で活動している地域女性団体、通称、「女性の会」の相互の情報交換や会の活動の活性化を目指し、さらには地域の発展を目的として発足させました。

普段は各連区の中の女性の会を単位とした活動をしており、その主な活動は、講演会、趣味講座、料理教室、体操・ヨガ教室、社会見学など様々です。

近年、核家族化が進み地域のつながりが薄れ、社会とのつながりを持ちにくい状況にある中、女性の会に参加することで、新しい出会いや世代間交流も増え、最近では若い人の参加も目立ちます。

また、参加することで地域とのつながりができたり、新しい知識が増えたりすることが、一番楽しいとの声も多く聞かれます。



現在は、市内全23連区中13連区しかありませんが、いずれは、全連区に女性の会を立ち上げ、いろいろな世代の方に参加していただき、多くの女性が地域の中でつながり、みんなが笑顔で元気になるような活動を進めていきたいです。

活動に興味をお持ちの方は、以下にお問い合わせください。
0586-85-7074(一宮市生涯学習課 生涯学習・文化グループ)

『いーぶん』は『男女共同参画』に関する様々な情報や話題を皆さんに提供する情報紙です。
『いーぶん』という名称には、男女の平等『EVEN』とみんなの『言い分』という意味が込められています。

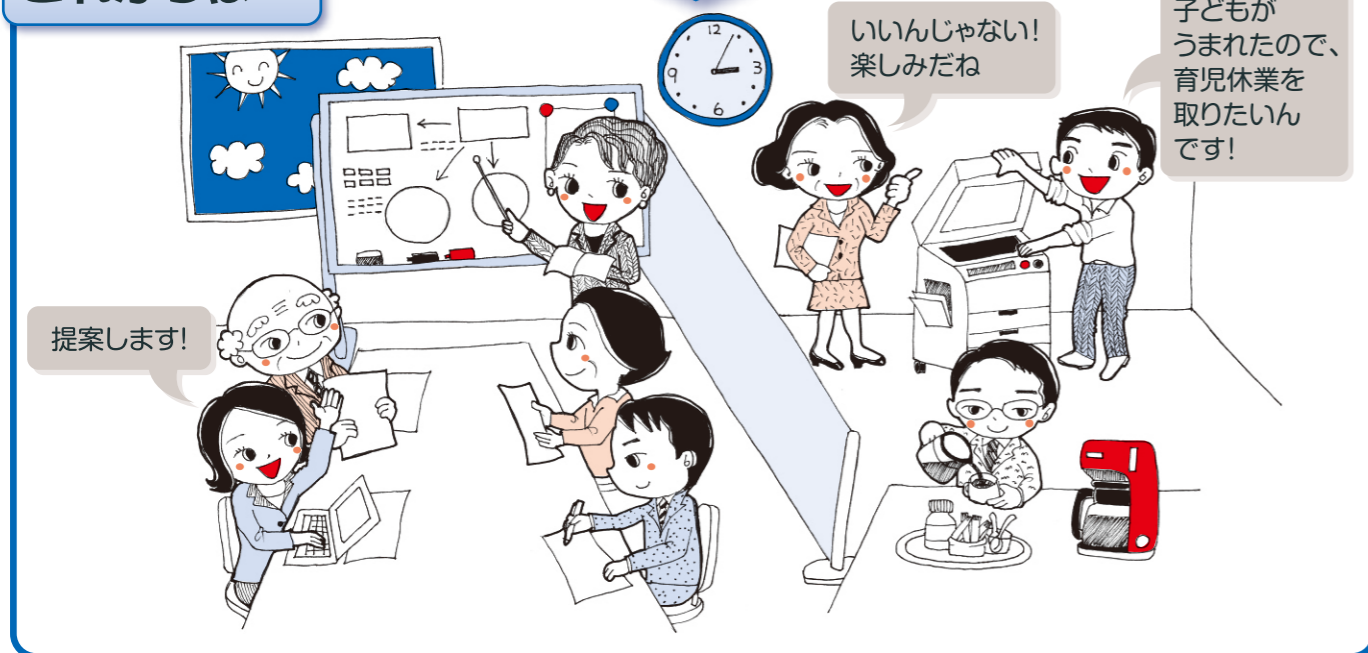
編集協力者/岡西 美子、横井 秀子、吉田 和江、伊藤 孝司、岩田 宏美 編集・イラスト協力者/後藤 明美
編集・発行/一宮市企画部企画政策課
〒491-8501 一宮市本町2-5-6 TEL 0586-28-8952 FAX 0586-73-9128
eメールアドレス kikakuseisaku@city.ichinomiya.lg.jp ウェブサイト http://www.city.ichinomiya.aichi.jp/
*企画政策課のウェブサイトでは、『いーぶん』のバックナンバーがご覧いただけます。
*『いーぶん』は市役所本庁舎、尾西・木曾川庁舎、各出張所、各図書館などで配布しています。
配布場所については企画政策課にお問い合わせください。

職場では…

これまでは…



これからは…



●男女は対等なパートナー

男女がともにやりたい仕事にチャレンジできれば、多様な視点やアイデアが反映され、職場の活性化にもつながります。性別にかかわらず、一人ひとりの個性や能力を発揮できる働きやすい職場づくりを目指しましょう。

●ワーク・ライフ・バランス

仕事は、暮らしを支え、生きがいや喜びをもたらすものですが、家族と一緒に過ごす時間や自分の趣味などの時間も暮らしに欠かすことはできません。働き方を見直し、仕事と生活・家庭の調和(ワーク・ライフ・バランス)を考えることが大切です。

家庭では…

これまでは…



これからは…



●男らしさ、女らしさにとられない

「仕事よりも家事が得意で大好き」という男性もいれば、「料理や掃除は苦手だけど、仕事のほうが自分を生かせる」と感じている女性もいるでしょう。男らしさ、女らしさの枠にとられないことなく、自分らしさを大切にしてみませんか。

●みんなで家事・育児

毎日の家事や育児は、私たちが生活していくうえで欠かすことができません。家庭の中の仕事を家族みんなで話し合って分担し、助け合うことで家族の笑顔が増えるのではないのでしょうか。